

令和5年度 授業改善推進プラン（小学校学級担任用）

福生第三小学校 第6学年2組 担任 ○○ ○○

1 福生市学力・学習状況調査の結果				
	分類	意識調査の質問項目	組	全国
学びに向かう力	感情のコントロール	8 家の人は自分のことを気にかけてくれていると思う	100%	94.0%
		53 自分には、先生や友だちからほめられるような得意なことがある	70.3%	76.1%
		54 自分の力をできるだけ伸ばしたいと思う	97.3%	92.8%
	目標の達成	18 ふだんから「不思議だな」、「なぜだろう」と感じることもある	81.1%	74.0%
		26 ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある	91.7%	91.9%
	他者との協働	107 私は、友だちをばかにしたりからかったりせず、一人ひとりの心や命を大切にしている。	80.6%	83.0%
	学力と関係が深い質問	43 調べてわかったことをもとに、考えをまとめられる。	70.3%	75.3%
		46 パソコンを使ってまとめたり、発表したりできる。	73.0%	74.7%
33 習った内容の中で、理解できていないことをわかっている。		70.3%	81.3%	
領域名		学力調査の分析 ○成果 ▲課題		
国語	言葉・情報・言語文化	▲全国平均正答率を20.1ポイント下回り、(ひょうこうを漢字で書く)設問に課題がある。		
	話すこと・聞くこと	▲全国平均正答率を9.9ポイント下回り、(森下さんの説明の理由を選ぶ)設問に課題がある。		
	書くこと	▲全国平均正答率を20.7ポイント下回り、(企画書の一部に見られる書き方の工夫を選ぶ)設問に課題がある。		
	読むこと	▲全国平均正答率を4.2ポイント下回り、(文章に関連する表の効果を選ぶ)設問に課題がある。		
算数	数と計算	▲全国平均正答率を15.3ポイント下回り、(3/8を小数で表す)設問に課題がある。		
	図形	▲全国平均正答率を23.9ポイント下回り、(三角形の角の大きさを求める)設問に課題がある。		
	変化と関係	▲全国平均正答率を22.9ポイント下回り、(自転車で進むのにかかった時間を求める)設問に課題がある。		
	データの活用	▲全国平均正答率を11.3ポイント下回り、(犬を飼いたい人の人数を求める)設問に課題がある。		
2 児童の実態		3 児童の実態を踏まえた授業改善の取組		
<p>国語の学習に関しては、すべての項目で全国平均正答率を下回り、多くの課題が見られる。特に、『漢字の書き』、『文章の読み取り』や『文章を書く』設問で、全国平均を大きく下回った。意識調査では、『国語の授業で、わからない言葉があれば、国語辞典で調べるようにしている』が全国平均よりも低く、それが原因であると考えられる。</p> <p>算数の学習に関しては、すべての項目で全国平均正答率を下回り、多くの課題が見られる。特に『数と計算』や『変化と関係』が全国平均を大きく下回った。意識調査では、『算数・数学の授業で、グループで協力して問題を解いて発表することがある。』が全国平均よりも低く、それが原因の一つであると考えられる。</p>		<p>&lt;国語&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>物語文や説明文の題材を扱う際に、分からない言葉を調べる時間を設定する。</li> <li>文体の整った文章に触れる機会を多くつくることで、文章を書く力を伸ばしていく。</li> </ul> <p>&lt;算数&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全ての単元を通して、四則計算の確認を行いながら進めていく。</li> <li>授業で学んだことはその日のうちにスキルで復習し、定着を図る。また、ミライシードも積極的に活用し、これまでの学年の復習も同時に行っていく。</li> <li>自分の考えを他の人に伝え合う活動を行うことで、思考力、判断力、表現力等を伸ばしていけるようにする。</li> </ul>		
4 ミライシードとの連携機能を活用した取組				
個別ドリルの実施状況		令和5年8月末時点で完了している児童 89.4% (34人/38人中)		
確認テストの実施状況		令和5年8月末時点で完了している児童 92.1% (35人/38人中)		